

おお大勝利

平成 25 年度山東サッカー部報第 16 号 (8 月 28 日)

サッカー部保護者の皆様、OBの皆様、日頃より本校サッカー部の活動にご理解とご協力を賜りまして、感謝申し上げます。

大雑把な勝利 Y2A長井工戦

8月24日(土)Y2Aリーグ第十二節の長井工戦が白鷹町東洋の里グラウンドにて行われました。新人チームが発足し、山形南・山形中央Bに連敗しましたが、その後、日大山形B・モンテユースBと連勝し、調子が上がってきた山形東。リーグ1位を走る山形中央Bとは勝ち点の差があるものの、リーグ2位は十分狙える位置にいる。対する長井工はリーグで苦しい星。最下位に留まっている。しかし、能力の高い3年生が残っており、前線に攻撃のタレントがいるため、一発の怖さは十分。リーグ最下位との対戦に油断している選手がいるかもしれないので、「粘り強い戦いを身上とするのが山形東であり、しっかりしたディフェンスからリズムを作るこれまでの試合と同様の戦いをするぞ」と選手に告げる。

場所は白鷹とやや遠いものの、清野会長と後藤報道局長は(ありがたいことに)いつも通り会場にいらっしゃる。保護者の皆様も、アウェイを思わせない応援の集まりよう。**保護者の応援の教で競うなら、山東はY1に上がる資格十分。**佐竹校長も、試合開始からほどなくして颯爽と応援席に現れる。

試合が開始されると、プレッシャーの度合いおよびベンチの熱さに長井工の気合を感じる。山東の選手は相変わらずボールが足につかず、トラップミス・パスミスを繰り返すアバウトな立ち上がり。能力の高い前線の相手選手に大暴れされそう。そう焦りを感じる立ち上がり、トップへの縦パスのリターンパス(バックパス)をワンタッチで裏のスペースに浮き球ラストパスが送られると、相手ディフェンスライン中央を2列目から走った**クリロン**にピッタリ合ってそのまま抜け出し、GKとの1対1。冷静に決め、開始3分ほどで先制。相手の出鼻をくじく先制だし、決して良くない立ち上がりを帳消しにする先制。**2列目の選手をいかに使うかが攻撃のポイントと考え伝えておりましたが、その方針をしっかりピッチで表現してくれる。**その後も積極的に相手ディフェンスラインにプレッシャーをかけ、ショートカウンターから2点を追加。**ムンタリとコウタという縦への突進力のある2選手が躍動。**逆にノラリクワリの**カツト**は、「競らない、ボールに寄らない」という甘いプレーが目立ち、顧問の逆鱗に触れる。「今日活躍するのはお前だ」と顧問から試合前に期待をストレートに伝えられていた**チャラミことカツミ**は、競り合いによる頭部裂傷で早々に退場。一度は頭にテーピングを巻いてピッチに戻るも、髪が邪魔して傷口を直接押さえ止血できなかったことが災いして、再び出血してそのまま病院送り。代わりに**レスラー**が投入されるも、試合を通してもったいないプレーが多い。精力的に動く、スピードがあり突進力がある、最近はスクリーンプレーにより相手をボールから遠ざけることを覚えボールキープ力が上がった等々、最近の伸びを感じるものの、止める蹴るの雑さが響いてゴールという結果が手に入らないレスラー。ともかくも、前半3対0。シュート16本打っての3点なので寂しい。

後半もシュート16本打って2得点。前後半1点ずつ上げたコウタのゴール前の落ち着

きが印象深い。特にその後半の得点は、一番警戒していた相手選手に超豪快なビューティフル・ワンダブル・ラブリーボレーを打たれ失点した直後だっただけに、流れを元に戻す意味でもチームにとって大事な得点でした。ベンチで「漁夫の利」という言葉でプレーを表現されることの多いカットが、相変わらず小憎らしいシュートで突き放し、結局 5 対 1 で山東の勝利。

点差がつき、ベンチにいた **1 年タイチ、シャモジ、2 年チョマヌキ、リン** を投入できたのは収穫でしたが、**前後半通じて 32 本のシュートを打って 5 点は寂しい**。しかも、GK との 1 対 1 またはそれに類するゴールから近い（入れるだけの）シュートの回数は 10 回はあったが、ことごとくゴールをとらえきれない雑さは弱さとしか言いようがありません。ただ、攻め込んでおきながら点が入らない、なんていう課題は、現在の山東の課題としては贅沢すぎるのかもしれませんが。【粘り強いディフェンスから少ないチャンスをものにするチーム作り】が山東で求められるとすれば、反省すべきはディフェンスか。**シュートを 32 本も打った試合というのは、普通、完全なワンサイドゲームになるはずが、特に後半は結構攻め込まれ、シュートを打たれ冷や冷やの時間帯もあり**。逆サイドの DF の裏のスペースを攻略しようとする相手の狙いは明らかであるにもかかわらず、何回も長いボールで相手に走られた左 SB サッチモのポジショニング・読みはどうだったのか。そして、そのカバリングをする役割の CDF アカガワさんのポジショニング・読みはどうだったのか。DF と MF の間の中間ポジションでボールを受ける選手に対して、もっと挟み込むディフェンスをする必要があったと思われるが、ダブルボランチのムンタリとクリロン、または後半の後半ではアンカー¹のタイチのポジショニング・読みはどうだったのか。ともかく、**勝つには勝ったが、こういう大雑把な試合をしたときに、いろいろと反省点を明確にする必要がある**でしょう。

試合後は、13:00 からモンテユースとベガルタユースのプリンスリーグの対決を観て勉強し、15:00 から Y2A の 2 試合目モンテユース B と山南の試合を観て、山形への帰路につきました。その試合では、**山東サッカー部が誇る頭脳、東大コンビの 2 年ドイト 1 年タロウ**が副審を務め、**クレバー・レフェリング**で難なくゲームを裁きました。

さて、次戦の Y2A ですが、9 月後半まで試合がありません。その前に、再来週末に地区新人が挟まります。顧問今野は山東 8 年目ですが、今年の地区新人はその中でも最も厳しい組み合わせのように感じます。が、まずは、**県新人の切符を賭けてとか抜きにしてリーグ戦で負けているバルサミコ・スタイルの山南に一矢報いたい**ところです。応援よろしく願います。

9 月 14 日 (土) 地区新人 VS 山形南 @日大山形 G 11:00~
それに勝つと VS 日大山形と山形工業の勝者 @同上 14:10~
9 月 15 日 (日) 地区新人 14:00 の試合に勝つと、@日大山形 G 9:30~
14:00 の試合に負けると、@山形中央 G 9:30~

これで負けるとその時点で
終わり (県新人×)

2 勝する
と県新人○

この試合勝てば辛くも県新人○

8 月 24 日 (土)、25 日 (日) に **1 年生の保護者の武田さん** が河川敷の草を刈ってくださいました。ありがとうございました。

また、苗場遠征に際しまして OB4 名が参加しましたが、彼らの交通費の補助を OB 会より頂戴しました。御礼遅れました。ありがとうございました。

¹ ダブルボランチの 1 つ下のポジションにいる選手。4 - 【1】 - 2 - 3 (4 - 3 - 3) や 4 - 【1】 - 4 - 1 の 【1】 に当たります。